

学校だより

京田辺市立薪小学校

TA KI GI
たきぎ

—学校教育目標—

豊かな心と優れた知性を持ち、
心身ともに健やかに、
ひとり立ちできる児童の育成

平成18年12月22日 冬号

いろいろな活動に精一杯がんばりました。

いろいろな行事を体験し、充実した2学期も終わります。どの場面にも意欲あふれる子ども達の笑顔をいっぱい見ることができました。通知表をご覧いただき、学習でがんばったこと、人のためにつくしたことなどよかったことがらうんとほめてやってください。また、改めるべきことがらは、年の始めにあたり気持ちを切りかえるようご指導ください。

今学期も、ご理解・ご協力をいただきありがとうございました。

防犯は地域ぐるみで！ 楽しい冬休みに…

日頃より児童の安全確保のために、保護者の皆様、地域の多くの方々に協力していただいていることに感謝しております。

さて、いよいよ明日から冬休みです。子どもたちは学校を離れて、各自がそれぞれの地域で過ごすことになります。子どもたちが持っている笛の音が聞こえたら、すぐにかかけつけ、子どもに声をかけてやってください。不審者に関しては、すぐに警察に情報を入れるなど、地域ぐるみで防犯に取り組んでいただきますようよろしくお願いします。

また、子どもたちに有意義な過ごし方ができるよう、各地域や家庭に伝わる年越しの行事にも参加したり、年末の忙しい時期には、家族の一員として活躍できる場を与えてください。子どもたちには、配布している「冬休みのくらし」をよく守り、健康・安全に気をつけて、楽しい冬休みを過ごすよう指導しています。



3学期始業式

1月9日(火) 通常登校

持ち物…上ぐつ、連絡帳(筆記用具)

のびゆくきろく(保護者印を忘れずに)

冬休みの課題など各学年やクラスから連絡のあったもの



1月当初行事予定

- 9日(火) 始業式、大掃除
- 10日(水) 短縮(給食なし)、二測定(1・2年)、書き初め会~12日
- 11日(木) 給食開始、二測定(3・4年)、Pおはなし会
- 12日(金) 委員会、二測定(5・6年、たんぼぼ・こすもす)

特別下校

- 9日(火) 11:30 下校
- 10日(水) 12:20 下校

* 冬休み中に何かあったら、学校へ連絡してください。

63 - 2000

裏面に、「人権週間の取組」について掲載しています。

人権週間の取組

12/4 ~ 12/8

1 人権アンケート・・・

『いじめは重大な人権問題』ととらえ、いじめの実態調査を兼ね、人権週間に入る前に子どもたちから、困っていること・うれしかったことのアンケートをとりました。

嫌だったこと(▲印) うれしかったこと(○印)は、次のようなことでした。

- ▲ 「えー、おまえ、あのもんだいまちがえたん？」というときの「えー」という言葉(相手をさげすむような「えー」という言葉)
- ▲ 名前の呼び方(へんな呼び方をされる。改名して呼ばれる。) 名前や外見から名前を変えて呼ばれる。(めがねをかけているからメガネザルなど)
- ▲ 「死ね、ばか、デブ、ちび、がいこつ、アホ、うざい、きもい」などの言葉
- ▲ 個人を決め付けるような言葉「どうせ○○してくれへんやろ」「どうせ○○やろ」
- ▲ 何もしてないのに「お前のせいや」と責任を押し付けられる。
 - 「ありがとう」
 - 「いっしょに遊ぼう」
 - 「がんばれ」「気にしんときや」「ドンマイ」「やったらできる」
 - 「すごいね」「がんばったね」
 - 「だいじょうぶ？」(泣いているとき)
 - 「よかったなあ」
 - 「ごめんね」(けんかするとき)

- ・ アンケートの結果から誰が「どんなことで悩んでいるか、困っているか」知ることができ、指導に役立ちました。
- ・ 1回きりのアンケートではなく、月に一回程度、子どもの心を出させるカードがあると、より子どもの状況を把握できてよいという声が教職員から出てきました。
- ・ 大人が聞いて、死ね・うざい・きもい等「人権的に問題がある」と感じる言葉も、高学年の中にはあまり問題視しないで言う方も言われる方も軽く考えて使う子がいることも課題として見えてきました。

2 人権アンケートを受けて・・・

「人にはみんな名前がある」「ふわふわ言葉とちくちく言葉」「無人島 SOS」など各学年の実態に合わせて人権の授業を実施しました。

児童の感想

一人一人の意見がちがったので、はんで話し合うときにまとまるかなあと思ったけど、一人一人が人の意見を聞き、みんなが少しずつだけ人の話を聞いて、最後にはみんなの話がまとまったのでよかったです。それに、わたしたちのはんは、マッチは火をつけるためしか考えられなかったけど、1ばんの話を聞くとけむりをあげてたすけをよぶという話をしていたので、いい考えだなあと思いました。

今年の人権のテーマは、無人島 SOS で、自分で考えるときはどうしたらいいかわからなかったけど、人の意見を聞くと「そうかあ」とか「わたしが考えているのもいいけど、人の言ったこともいいなあ」と思いました。また、こういうきかいがあれば、みんなの仲も深まると思うし、それに自分の考えや人に対する気持ちも深まると思います。

(4年生児童)

今日、「ふわふわ」と「ちくちく」のべんきょうをしました。思ったことは、「ふわふわ」は、心をあたたくしてくれて、「ちくちく」は、いやな気持ちになる。と分かりました。先生が「ふわふわ」と「ちくちく」をよく分かるように教えてくれて、わたしも意味がよく分かりました。先生の話聞いていたら、わたしもわる口をやめようと思いました。みんながわる口を言われているとはじめてしりました。一番ひどいことばは、「死ね」と「あの世にきえろ」と「じさつしろ」だと思いました。ほかのことばもわるいと思います。「ふわふわことば」は、「ちくちくことば」とちがっていいことばだと思います。わたしが、その中で一番いいと思ったことばは、「ドンマイ・ドンマイ」と「ありがとう」です。みんなわる口のことをいってから悲しんでいました。わたしはその気持ちもすごく分かります。かわいそうだと思います。わたしは、このじゅぎょうでいろんなことが分かりました。ことばは大事だなあとと思いました。（３年生児童）

３ 「いいところ探し」の取組・・・

子どもたちが、自分を好きになるように、今年も「いいところ探し」をしました。他人に対する評価がかけない子があり、「いいところ」だけだと書けなくても、「うれしかったこと、楽しかったこと」も書いていいことにしたら、どの学年も友だちのいいところを探すことができました。